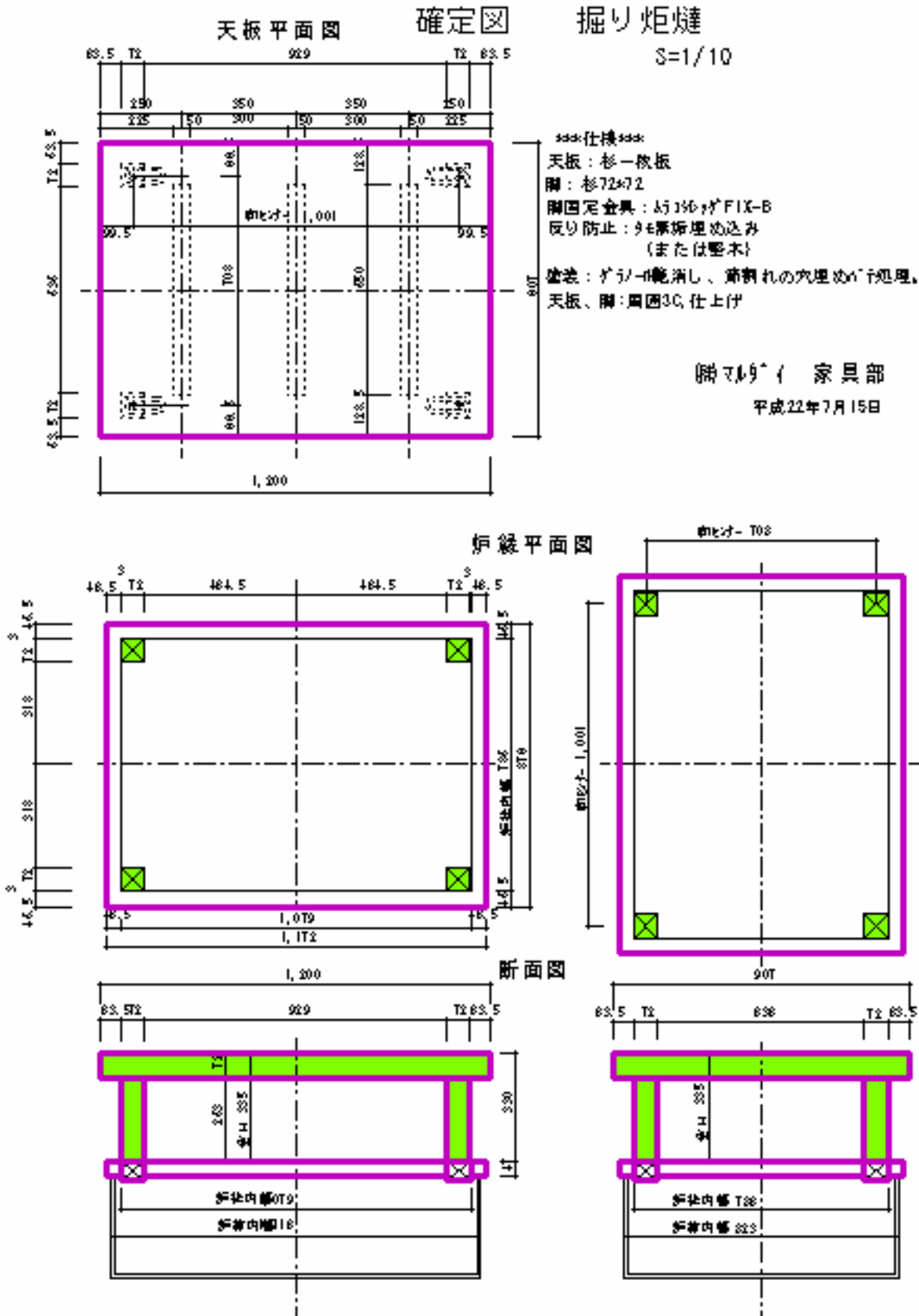


秋田杉 1 枚板天板の掘炬燵の製作について

神奈川県大磯町のお客様より 1 枚板で掘り座卓を作りたいと製作依頼がありました。そこで、弊社(株)マルダイに来ていただき板を選んで戴きました。選ばれた天板は秋田杉の 1 枚板で十分な大きさがありますが、大きな節が 2 つあります。この節も柄と考えて見た目良く木取ります。





こちら側で角足4本木取りました。

掘り炬燵天板サイズは 1200*907*t75 です。十分に木取り出来ませんが、大きな節 2 個を画像のような位置に木取り、さらに端材で、角足 4 本も取ることにしました。

掘り炬燵の下部炉枠、炉箱はパナソニック電工の商品で、座卓部はすべて同一の秋田杉 1 枚板からの製作となります。ただし、角足の受け物は座卓が重量がありますので、炉枠との固定を補強しております。



パナソニック電工炉箱取り付け状況。



炉縁取り付け状況。



畳が入り
座卓取り付け前の状況。



堅木を埋め込んで反り防止を図る。



天板 t75 近くあり、幕板式に脚を固定すると足を入れるスペースが少なくなるため、天板、脚の固定金具を利用しています。

この金具の使用に当たっては脚太さ 60mm 以上必要です。

ムラコシ製
レッグ FIX - B です。



大きな節が2つありますが、これも1枚板の自然な表情です。
塗装はガラス塗料グラノールを使用しました。



天板下の足を入れるスペースが確保でき、スッキリと仕上がっています。



リビング畳コーナーの主演として十分に引き立っています。

吹き抜け部からの表情です。



大きな節に多少割れがありましたが、パテなどで一度埋めたものの、どうしても自然の味が消されてしまいます。パテ埋めを再度取り除き、割れは割れとしての自然な形に戻してやっと気持ちが落ち着きました。

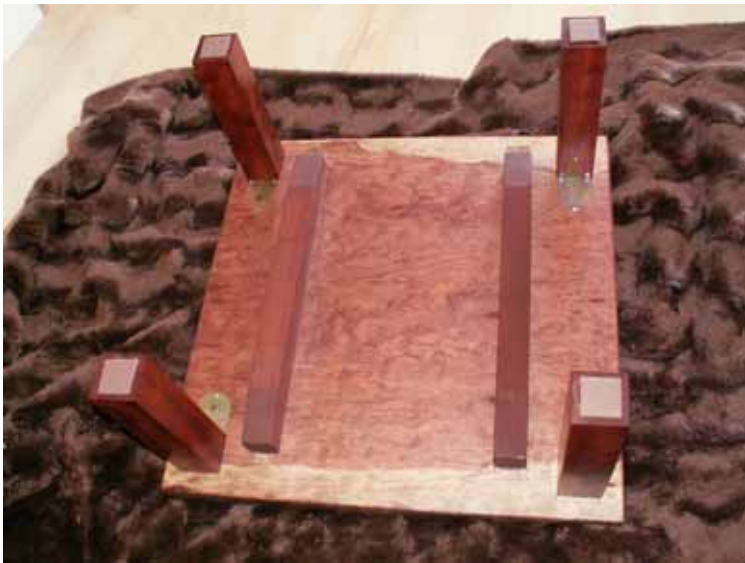
次に、お客様のブビンガ天板（反り防止付）の脚のみの製作依頼です。



ちょうど手頃なブビンガ材がありましたので、これを使用し、この脚の固定もムラコシ製のレッグ

FIX-Bにて取り付けました。

スッキリした形で収まりますし脱着も六角
レンチで簡単にできます。



小さなリビングテーブルとして十分に
使えます。意外とお洒落ないいものです。



これもお客様の希望をかなえる小さなお手伝いでした。

(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木

平成 22 年 8 月 20 日